



## いきいきファーマーだより 第86号

平成29年 月 日 益田市農業担い手支援センター発行  
益田市ホームページアドレス  
<http://www.city.masuda.lg.jp/>

### 目次

1. お役立ちなんでも情報
  2. 紹介コーナー
  3. 担い手支援センターのメンバーの異動について
- ◇◇雑談コラム◇◇

### 1. お役立ちなんでも情報 ～各地イベント・情報提供～

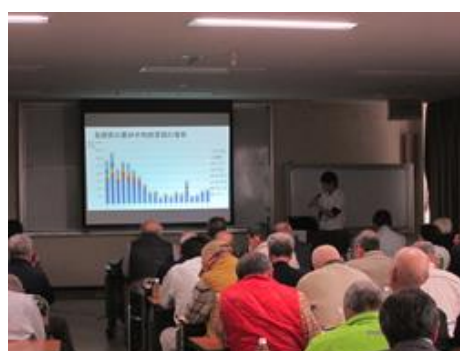
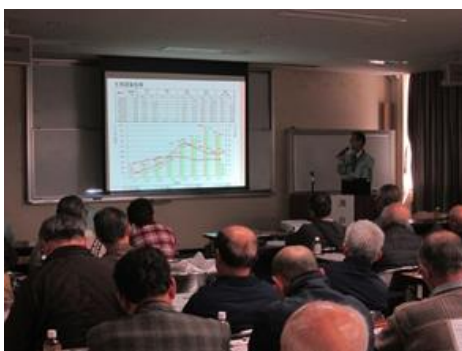
#### 「石西地域米づくり推進研修会」が開催されました

今後の西いわみ地域の米づくりに必要となる省力・低コスト技術と、中山間地で深刻な問題となっている鳥獣害防止対策を学ぶため、3月16日（木）に平成28年度石西地域米づくり推進研修会を開催しました。

研修会は二部構成で行い、第一部の「省力・低コスト技術」では、(株)中四国クボタ米子事務所より「鉄コーティング直播技術」について、益田普及部より「管内における鉄コーティング直播実証ほの結果」について、ヤンマーアグリジャパン(株)中四国カンパニーより「密苗栽培技術」について、(株)丸山製作所中国営業所より「稲作におけるドローンの活用」について情報提供を行いました。第二部では、西部農林振興センター益田事務所林業部より「稲作における鳥獣被害防止対策のポイント」について講演をいただきました。

当日は、管内の農業者及び関係機関合わせて100名以上の出席者があり、これらの技術についての関心の高さが伺えました。

平成30年から生産調整の見直しや米の直接支払交付金の廃止など、米をめぐる情勢は大きく変動することとなりますが、引き続き関係機関一体となって、こうした政策や情勢の変化に対応できるよう支援を行っていきます。



## 平成28年度西部地区肉用牛振興大会を開催

平成29年3月3日（金）、(株)ジュンテンドー研修センタージャストホール（益田市遠田町）において、西部地区肉用牛振興大会を開催しました。浜田、益田管内の肉用牛飼養農家及び関係機関、関係者65名が参加しました。

今年度は2月15日に東京で開催された家畜人工授精優良技術発表全国大会で西川賞を受賞された島根県家畜人工授精師協会石西支部の寺戸倉雄さんに、「黒毛和種繁殖雌牛の分娩間隔日本一を支える私達の活動」と題して、講演して頂きました。平成24年度から4年連続で分娩間隔日本一の成績を記録した西いわみ和牛改良組合を支える長年の取り組みは高く評価されています。また、島根県農業協同組合畜産部畜産課の水津誠司課長からは、「雲南畜産総合センターを核とした畜産の振興について」と題して、平成27年12月から本格稼働している島根県農業協同組合雲南地区本部の畜産総合センターについて、キャトルステーションやマザーステーション等の機能の概要など、畜産総合センターを核とした和牛繁殖産地維持・拡大に向けた取り組み内容について、事例報告がありました。

その他、しまね和牛子牛育成マニュアル及び子牛市場における赤リボン装着基準の変更点や、全国和牛能力共進会へ向けての取り組み状況、集落放牧の普及に向けた西いわみ版レンタル放牧のPRなど、関係機関から情報提供を行いました。

当日は、肉用牛繁殖農家や関係機関65名が参加して、それぞれの話題に対して熱心に耳を傾けていました。

今後も本大会を継続開催して、種々の意識啓発や情報提供を行い、関係機関と協力して西部地区の肉用牛の生産振興を図っていきます。



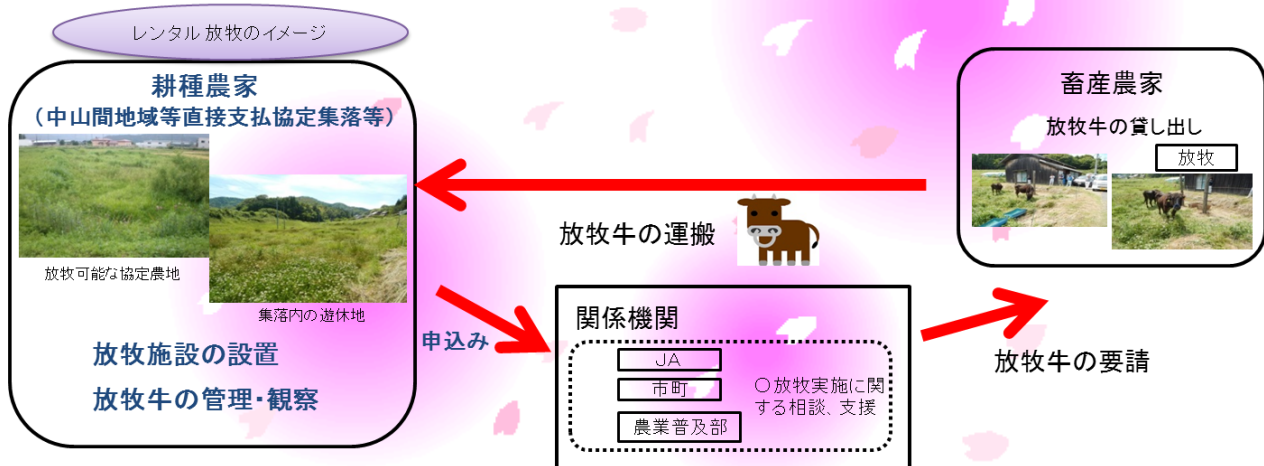
講演の様子

## 集落で放牧を始めてみませんか？

近年の米価下落、農業者の高齢化等により、遊休農地が増加し、ますます農地の維持管理が難しい状況となっています。そこで、益田管内では、草刈りの省力化や農地・景観維持を目的として、畜産農家から集落営農組織等へ牛を貸し出す「西いわみ版レンタル牛放牧」を進めています。現在、益田管内では、4 組織が集落放牧を行っており、さらに、新たな放牧実施集落を募集しています。ご不明な点がありましたら、最寄りの役場、県農業普及部までご相談ください。

### \*西いわみ版レンタル牛放牧

- レンタル料・・・無料（但し、レンタル牛の濃厚飼料、保険料は借受者負担）
- 必要資材・・・無料貸出を行います。（但し、数に限りがありますので、ご了承下さい）
- ★中山間地域等直接支払制度を利用する集落組織でのレンタル放牧をお勧めしています！



(農)横尾衛門での放牧風景



(農)城九郎での放牧風景



## 農業生産工程管理（GAP）に取り組みませんか？

●まずはあなたの農業経営を点検しましょう。

### ①食品安全は？

出荷者のうち、1人でも問題を起こせば、本人だけでなく生産部会や産地全体で販売停止や商品回収を行うこととなり、その後の取引にも影響が出ます。

食品事故を起こさない体制作りに取り組みましょう。

### ②環境保全は？

田畑や水を子ども達の世代につないでいくために、環境に配慮した生産に努めましょう。

### ③農作業安全は？

農作業事故が多く発生しています。働く人の安全と経営の継続のために、農作業事故を防ぎましょう。

●これらを実現する手法が「農業生産工程管理（GAP）」です。

☆農業生産工程管理（GAP）の内容

- |             |               |
|-------------|---------------|
| ①農場の運営体制    | ②生産・出荷物の安全性向上 |
| ③環境負荷の少ない農法 | ④農作業中の安全対策    |

栽培開始

出荷

☆農業生産工程管理（GAP）実践の手順

GAP実践の手順

- ①農作業のルールを決める。
- ②ルールに従って農作業を行い、記録を残す。
- ③ルールが守られたか点検する。
- ④次年度に向けて改善する。

●「安全で美味しい島根の県産品認証制度（美味しまね認証）」は、県内で生産される農林水産物について、①安全な農林水産物の生産②消費者からの信頼確保③産地のレベルアップを目的として、平成21年度からスタートした県独自の認証制度です。

「安全で美味しい」を兼ね備えた製品を作る生産者・農業生産工程管理などの方式を、第三者機関の判断のもとに、島根県知事が認証する仕組みで、認証期間は4年間です。

県が定めた生産工程管理基準を実践することで、農作業事故や食品事故の未然防止、消費者の信頼確保や経営の改善強化などにつながります。

関心のある方は西部農林振興センター益田事務所までお願いします。



島根県観光キャラクター「しまねっこ」  
島根県産品第 1830 号

安全な生産に取り組んでいることを県が認証しています

## 第8期 益田市「アグリ楽援」スタート

農作業サポーター養成講座であるアグリ楽援が、益田市遠田町にある益田市新アグリセンターでスタートしました。このアグリ楽援は益田市農業担い手支援センターが、平成18年から取り組んでいるもので、今回が第8期生となります。今期は果樹コースということで、8人の受講者が柿とぶどうの管理から収穫・出荷調整までを学びます。

受講者は講義全日程を終了すると、益田市農業サポーターに登録され、雇用労働を必要とする農家に派遣されることになります。



### 【平成28年度サポーター実績】

サポーター登録 12名

サポーター派遣 15件（認定農業者5経営体／活動日数のべ184日）

※サポーターを雇用された方で、実績報告書を提出されていない方は、必ずご提出ください。

→サポーター制度の利用状況の把握とサポーター養成のために役立ってます。

## 人・農地プランの中心的経営体として掲載協力のお礼について

農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など「人と農地の問題」の解決に向け、5年後、10年後の地域農業のあり方について地域で話し合いをし、人・農地プランを平成26年に益田市全域で作成しました。その際に地域の中心的な経営体として、認定農業者の皆さんについてもご協力いただき、人・農地プランに掲載をさせていただきました。今回、改めて掲載の承諾や個人情報の取り扱いについての同意のお願いに快く対応していただき有難うございました。このプランに掲載されていることが、スパーL 資金の金利負担軽減措置や経営体育成支援事業など実施条件となっております。また、農地中間管理事業についても、人・農地プランに掲載された方であることが借り入れの条件となっております。プランについては、毎年度見直しを行うこととしておりますので、何かありましたらご相談いただければと思います。

## 認定農業者の再認定（更新）の認定申請について

認定農業者には、5年間の認定有効期限があり、更新を希望される方は、申請書（農業改善計画申請書）を提出していただき、再認定のための審査を受けていただきます。

今年度は、平成24年度に認定を受けた方が対象となり、みなし認定を含む全認定農業者124経営体中18経営体の方が該当します。再認定を希望される方には申請書（農業改善計画申請書）の作成のために、有効期限の1ヶ月前を目途に聞き取りをさせていただきます。ご多用とは存じますが、聞き取り等へのご協力をお願いします。

- ※ 申請書の作成のため、該当者の方には、現状の農業所得や労働時間、各作物の作付面積に加え、5年後の作付目標、計画等を伺います。ご準備をお願いします。
- ※ 再認定を辞退される方につきましても30分程度お時間を頂戴し、目標達成状況を伺いたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

## 認定農業者経営改善計画聞き取り調査のお願い

認定農業者の方には、5年間の認定有効期限の中間年（3年目）に於いて、状況調査を実施しています。今年度は、平成26年度に認定を受けた14名の方が該当します。

お忙しい時期ですが、30分程度お時間を頂戴し近況を伺いたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

## 2. 紹介コーナー

### 新たに認定された認定農業者のみなさん

- ・野村 行雄さん（木部町／グランドカバープランツ）
- ・三浦 宏さん（横田町／施設野菜＋露地野菜）
- ・合同会社高津川ファーム（白上町／穀類＋加工用野菜＋西条柿）
- ・福原 智宏さん（下本郷町／果樹）
- ・能地 利典さん（高津／果樹）
- ・澁谷 洋明さん（遠田町／菌床ひらたけ）
- ・真庭 宗一郎さん（飯田町／施設野菜＋露地野菜）



### 3. 担い手支援センターメンバーの異動について

#### ○転出

- ・西部農林振興センター益田事務所 益田北地域振興課 専門農業普及員 中村 亮一
- ・西部農林振興センター益田事務所 益田北地域振興課 主任農業普及員 小早川 洋美
- ・西部農林振興センター益田事務所 益田北地域振興課 専門農業普及員 安部 裕治
- ・西部農林振興センター益田事務所 益田南地域振興課 専門農業普及員 西田 秀行
- ・益田市 産業経済部 農業振興課 農業担い手支援センター 主任主事 高橋 孝輔

本センターでは、短期間ではありましたが、日々たくさんの事業経営の実態に触れさせていただき、公私ともに大変有意義な勉強をさせていただくことができました。

お世話になりありがとうございました。

#### ○新任

- ・西部農林振興センター益田事務所 益田南地域振興 専門農業普及員 伊東 芳晴

4月の異動で農業担い手支援センター(新規就農)担当になりました伊東です。農業普及部では畜産を担当しますのでよろしくお願いします。

- ・西部農林振興センター益田事務所 益田北地域振興課 専門農業普及員 鶴永 建治

4月から益田農業普及部にまいりました。野菜(主にトマト)、わさびを担当させていただきます。高校生の時以来の益田の生活になりますが、地域のお役に立てるようがんばります。よろしくお願いします。

- ・西部農林振興センター益田事務所 益田北地域振興課 農業普及員 都間 三鶴

この春、益田普及部に異動してまいりました都間と申します。果樹や花、認定農業者を主として担当します。日々勉強しながら皆様のお役にたてるようがんばりたいとおもいます。よろしくお願いいたします。

- ・益田市 産業経済部 農業振興課 農業担い手支援センター 主任 中島 瞳

平成29年4月1日付の人事異動で税務課から農業振興課担い手支援センターに配属されました。認定農業者などを担当することとなりましたので、よろしくお願いします。

#### ◇◇雑談コラム◇◇

この冬は2年続けて暖冬でしたが、それでも春になって暖かくなってくるとほっとした気分になりますから不思議です。

季節の変わり目は体調を崩しやすいと言われますが、私は身体面のしびとさには自信を持っていたので「まあ大丈夫だろう」と思っていたところ、2月には予防接種を受けていたにもかかわらずインフルエンザで倒れ、さらに3月にはしつこい風邪にやられてしまい、先人の警句は甘く見るべきではないという個人的な教訓を得ました。これから花粉症シーズンですので対策をどうしようかと思案しているところです。

皆さまも体調を崩すことがないように、ご自愛ください。(S.I)

